様式第6号の11

学番78　県立佐渡高等学校

令和3年度

学校自己評価表（当初計画及び年度末総合評価）

学校運営計画		
学校運営方針	「自主自律」「求真窮理」「協調責任」「誠実感謝」の精神の下、個性豊かな社会人の育成をめざし、全人的教育を推進するため、以下を実現するべく学校を運営する。 (1)主体的に学問を追究しようとする生徒を育てる学校 (2)佐渡から世界へと視野を拡げる生徒を育てる学校 (3)佐渡の発展に貢献できる生徒を育てる学校 (4)生徒が安心して学び、生活することができる学校	
昨年度の成果と課題	年度の重点目標	具体的な目標（能力の育成） 具体的な取組（方策は各分掌で設定）
○授業改善について 主体的・対話的な授業やICTの活用等を進め、授業力向上及び授業改善を進めた。 その結果、生徒の進路希望の達成において、国公立大学の合格者が延べ61に達し、目標とした国公立大学進学者の対卒業者比率27.9%に届くなど大きな結果が見られた。 コロナ禍において、一人ひとりの生徒が粘り強く挑戦を続けられるよう、学年・担任・進路が連携しながら指導し、年度の重点目標に掲げた生徒を育てることができた。 引き続き生徒の進路希望の実現に向け、授業改善を学校全体で組織的に取り組んでいく。 ○学校不適応等の対応について 長期欠席者や原級留置者は減少させたが、在籍異動者が再び増加した。 学校不適応等による転退学、特に1年生初期の不適応を防ぐなどの課題を克服するため、特別支援教育推進体制の充実やスクールカウンセラーの活用等の教育相談の充実と教員の対応力向上を進めていく。 ○いじめの対応について 生徒指導においては、生徒の規範意識も向上し、大きな問題行動の発生はなかったが、いじめの認知件数は6件あった。重大事案に至る前に、個別面談やアンケートなどで生徒の悩み等を掬い上げ、いじめ見逃しゼロを目指した取組を続けていく。	(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。 (2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。 (3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。 (4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。 【今年度の目標】 ○いじめ見逃しゼロに向けたいじめ対策の推進といじめ対応マニュアルの適切な運用 ○新たな学習指導要領に向けた教育課程の策定 ○国公立大学合格者数延べ50人以上または国公立大学進学者の対卒業者数比率25%以上	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施 【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な学習の時間等におけるキャリア教育充実 ・探究活動やサステイナビリティ学の実施 【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加 【自己理解及び共感力の育成】 ・総合的な探究の時間等における探究活動・職業講話の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立

成　果	○全体評価 今年度の目標に掲げていた事柄について、3つの目標は一定の成果を収めたことと各分掌・学年・教科の評価を踏まえ、令和3年度の総合評価をAとする。 ○進路について 進路目標については、国公立大学進学者36人、私立大学64人、計120名を達成するとともに、国公立大学医学部医学科にも1人の進学者（卒業生）を出すことができた。 ○いじめ対応について いじめ対応についても、組織的に対応し、マニュアルは教職員の指導に浸透し、いじめ認知も円滑に行われてた。SNS等の利用により様々事案が発生し、保護者への伝達や情報共有等の円滑化は次年度の課題である。 令和4年度からの教育課程の編成については、教務部及び各教科の意見をカリキュラム委員会で検討し、準備も順調に進んでいる。 ○次年度への課題 次年度の課題としては、新型コロナウイルス感染症拡大防止に引き続き継続することとなるが、今年度は体育祭、文化際、修学旅行代替旅行も実施でき、部活堂においても各種大会が実施され、素晴らしい成果をあげた。社会情勢とも関わるが、来年度も、これらを円滑に実施していくことが1つの目標であり、2学年の学級減の中での対応も必要である。 また、文部科学省「COREハイスクールネットワーク事業」において、遠隔授業も試行的に実施でき、反省点を洗い出せた。 なお、来年度、進路変更による転学など在籍異動者数を一定程度減じていくことも課題である。	総合評価 A

様式第6号の11

学番78　県立佐渡高等学校

【教務部】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	シラバスを作成し、より効果的な授業展開を研究する。	A	B	A
		個々の生徒の力に応じた学力向上のための指導を実施し、一層の学力定着を図る。	A		
		指導力向上のための研修を実施し、職員個々人の研鑽を図る。 特に新規に導入されたICT機器の活用については他と連携し、効果的な研修をはかる。	C		
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサスティナビリティ学の実施	生徒の実情を把握するため、個別面談等を実施しやすいような行事・時程等の環境を整える。	A	A	
		総合探究委員会等、各分掌と連携し、限られた条件の中でも生徒の学習や活動がしやすい環境を充実させる。	A		
		各種奨学金等、進路実現のためのサポートを行う。	A		
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	チャイムにより生徒が整然と行動できる環境を作る。	A	A	
		ボランティア活動の案内を実施し、生徒が積極的に参加できる環境を整える。	B		
		教具・教材等の充実を図り、指導を行いやすい環境を整える。	A		
(4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	総合探究委員会等、各分掌と連携し、探究活動や職業講話・道徳教育等の時間を確保する。	A	A	
		生徒会との連携により、各種行事の充実を図る	A		

【生徒指導保健部】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	朝の校門立番指導を通年で行い、遅刻の減少、朝学習の心構えを醸成する。	A	A	A
		健康調査・健康診断・健康観察により、生徒情報を把握し、授業に全力で取り組めるよう支援する。	A		
		清掃指導を強化し、好ましい学習環境をつくる。	A		
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサスティナビリティ学の実施	いじめアンケートを実施し、問題の早期発見・早期解決を図る。	A	A	
		個別支援シートを活用し、問題を抱えた生徒の情報共有、対応を図る。	A		
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	年3回の頭髪服装検査を行い、全員合格を目指す。	A	A	
		長期休業前に注意喚起を行い、問題行動を未然に防ぐ。	A		
		保健指導を行い、健康管理を積極的に行う意識を啓発する。	A		
(4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	生活委員・保健委員を指揮し、活動の活性化を図る。	A	A	
		SNS授業を実施し、トラブルの減少を目指す。	A		
		交通講話を実施し、事故防止と交通マナーの遵守を図る。	A		

様式第6号の11

学番78　県立佐渡高等学校

【進路指導部】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	放課後補習や長期休業中の補習を実施する。	A	A	A
		進学・就職の小論文・作文・面接指導を実施する。	A		
		大学教授・予備校講師による進路講演会を実施する。	A		
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活用やサスティナビリティ学の実施	学年会や職員会議で進路シラバスを確認し、共通理解を図る。	A	A	
		進路希望状況調査を実施し、生徒の進路希望を把握する。	A		
		全国模試などの分析を行い、各学年生徒の現状理解を図る。	A		
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	進学・就職の面接指導を実施する。	A	A	
		大学講義体験などを実施する。	A		
			A		
(4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	適性検査などを用いて自己理解を図る。	A	A	
		大学講義体験などを実施する。	A		

【特活部】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	自ら目標を立て、それに向かい協働する力を育てる。	A	A	A
		各部活動や大会参加を通じて、技能及び精神力の向上と努力することの大切さを学ばせる。	A		
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談･進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な学習の時間等におけるキャリア教育充実 ・探究活動やサステイナビリティ学の実施	生徒会諸行事に主体的に取り組むことを通じて、自発性・協働性・責任感などを身に付けさせる。	A	A	
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	生徒会諸行事の企画・運営を通じコミュニケーション能力を高める。	A	A	
		学校としての一体感や情報の共有を図る。	A		
		週1回の執行部会開催を定着させ、生徒会活動への参画を促す。	A		
(4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	HR活動を通じ他者と関わる中で、自己を見つめ自己の役割を果たしつつ他者理解に繋げる。	A	A	

様式第6号の11

学番78　県立佐渡高等学校

【渉外部】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価	
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	PTA会報や同窓会会報、会合を通して、学校行事の様子や部活動の成績を保護者や同窓生に周知させる。	A	A
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサスティナビリティ学の実施	PTA会報や同窓会会報、会合を通して、佐渡高校独自の教育活動を周知させる。	A	
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	会報や会合を通して、佐渡高校生が基本的生活習慣をきちんと身につけていることを周知する。	A	
(4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	総合学習やサステイナビリティの活動に、佐渡高校の生徒が積極的に参加し、佐渡の将来について深く考えていることを会報や会合などを通じて周知する。	B	

【図書情報部】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	ICTを用いた授業力の向上を目的として、電子黒板等の利用に関する研修会を実施する。	A	A	A
		ICT機材や情報システムを補修・整備し、授業等で活用できる状態を保つ。	A		
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活用やサスティナビリティ学の実施	生徒の進路実現に資する図書を購入し、また周知する。	A	A	
		小論文指導に資する図書を整備する。	A		
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	学校のWEBページを随時更新し、生徒の活動の様子を校内外に発信する。	B	B	
(4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	図書館オリエンテーションを実施し、適切な図書館の使い方を指導する。	A	A	

様式第6号の11

学番78　県立佐渡高等学校

【1年】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	ICTを活用し、理解しやすい授業を行う。	A	A	A
		進学希望者向けと不振者向けの補習を実施する。	A		
		学校行事に積極的に参加し、充実した学校生活を送る。	A		
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサスティナビリティ学の実施	進路指導シラバスに沿って学年運営を行う。	A	A	
		放課後等の時間を利用し、学期に1度以上の面談を行う。	A		
		適性検査などで自己理解を深め、職業講話などを通じて多様な職業を知る。	A		
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	挨拶を大切にし、人と関わる機会をもたせる。	A	A	
		学年集会、LHR等で基本的生活習慣や規範意識について指導する。	A		
		ボランティア活動をホームルーム等で周知し、積極的活動参加を促す。	B		
(4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	グループで「佐渡を知る・考える」探究活動を行う。	A	A	
		学年集会、LHR等でルール・マナーを遵守することの大切さを理解させる。	A		
		学習と部活動での成長効果を理解させ、積極的に取り組むような指導を徹底して行う。	A		

【2年】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	課題や小テストを計画的に実施する。	A	A	A
		ICTを活用して、理解しやすい授業を行う。	A		
		各種補習を計画し実施する。	A		
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサスティナビリティ学の実施	計画的に個別面談や進路指導を行う。	A	A	
		各種講演会や進路探究を通じて、自分の進路について考える。	A		
		セルフチャレンジプランを通じて社会貢献の意識を高める。	A		
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	挨拶を励行し、円滑な人間関係形成の意識を高める。	A	A	
		行事や部活動を通してコミュニケーション能力やリーダーシップを養う。	A		
		社会活動への参加を促し、仲間と協働して活動する機会を持たせる。	B		
(4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	セルフチャレンジプランを通して、地域理解・国際理解・自己理解を深める。	A	A	
		行事や部活動を通じて、他者の意見を客観的に聞く姿勢を養う。	A		
		修学旅行事前の平和学習や修学旅行、人権教育、SNS教育等を通じて、社会的・個人的な規範意識を高める。	B		

様式第6号の11

学番78　県立佐渡高等学校

【3年】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	モバイルサテラインの斡旋・計画を行い、学習をサポートする。	A	A	A
		放課後補習や添削を実施する。	A		
		集中学習を実施する。	A		
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサスティナビリティ学の実施	進路指導シラバスに沿って学年運営を行う。	A	A	
		必要に応じて個別面談や進路面談を行う。	A		
		進路講演会の実施により、自分の進路について考える。	A		
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	挨拶を大切にし、よりよい人間関係の構築に努めさせる。	A	A	
		行事や部活動で学校をリードするとともに、リーダーとしての意識を持たせる。	A		
		学級活動への参加を促して、仲間と協力して活動を行う。	A		
(4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	総合的な探究の時間の活動などを通じ、自己理解を深める。	A	A	
		生徒会活動や部活動を通して他人を思いやる心を育てる。	A		
		朝読書・朝学習を実施して、静かに学習する雰囲気つくる。	A		

【国語】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	授業内容に応じた週末課題、月課題を課す	A	A	A
		ICTを適切に活用し、授業の充実を図る	A		
		継続的に漢字・古典小テストを実施する	B		
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活用やサスティナビリティ学の実施	漢字検定を年2回実施する	A	A	
		放課後や長期休業中の補習などを実施する	A		
		進路希望先に応じた個別指導を行う	A		
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	授業に協働的な活動を取り入れる	A	A	
		意見を述べたり、交換したりする場を設ける	A		
(4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	考査、模試等の振り返りを行い、自己の課題に向き合わせる	A	A	
		週末課題、月課題の提出期限を守らせる	B		

様式第6号の11

学番78　県立佐渡高等学校

【地理歴史・公民科】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	要点整理ノート等を活用して基礎的学習事項の定着をはかる	A	A	A
		ICTを取り入れ、生徒の主体的な学習姿勢の形成を促す	A		
		理解力の低めの生徒に対しても、勉強の仕方からアドバイスするなど、能力に応じた適切な学習指導を行う	A		
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサスティナビリティ学の実施	模擬試験の事前・事後指導を通じて教科指導の側面から進路実現の意欲を高める	A	A	
		補習や個別指導を行い、授業での学習指導を補填する	A		
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	授業で班活動や発表を取り入れ、社会参画やコミュニケーション能力の育成をはかる	A	A	
		授業と授業外の時間のけじめをつけさせ、授業中は授業に集中	A		
(4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	ニュースや社会事象を取り上げ、自分たちが生きている社会そのものに関心を持たせるとともに、学習事項とのつながりを考察させる	A	A	
		家庭学習も含めて継続的・計画的な学習態度の形成を促す	A		

【数学科】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	家庭学習を促すために課題を適切に課す。	A	A	A
		ICTを活用し、効率よく丁寧に指導する。	B		
		大学進学希望者を対象に添削課題等の個別指導を実施する。	A		
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサスティナビリティ学の実施	既習事項の定着を図るために模試対策、模試の復習を行う。	A	A	
		模試の結果を分析し、苦手分野の克服を促す。	A		
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加				
(4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立				

様式第6号の11

学番78　県立佐渡高等学校

【理科】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	適宜、小テストを実施したり、課題を与え、家庭学習を促す。	A	A	A
		ICTや授業プリントを活用し、効率よく丁寧に指導する。	A		
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサスティナビリティ学の実施	3年間を見通し、個々の進路に応じた適切な指導を行う。	A	B	
		サステイナビリティに関係した太陽光発電を利用した実践研究。	C		
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	発問し、発言する力や考察力、人の意見を聞く力などの養成する。	A		
		授業の最初と最後に挨拶をする。	A		
(4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	授業を聞く態度や、学習中の人へ配慮する心を育てる。	A	A	
		互いに学び合い、様々な考え方を尊重しあう心を育てる。	A		

【保健体育科】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	・全学年毎時間、基礎体力の向上を図る。	A	A	A
		・1学年は中学からの脱却を図る指導と精神的向上を図らせる。	A		
		・2・3年生は選択制を用い、自ら学び積極的に行動・運動させる。	A		
		・教諭の専門性を生かしつつ、より高度な技術習得をさせる。	A		
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサスティナビリティ学の実施	・体育授業中の生徒情報を担任等と連携を図る。	A	A	
		・グループ活動を充実させ集団から学ぶ姿勢を育成する。	A		
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	・挨拶・声を出すことの意識を説き徹底指導を行う。	A	A	
		・集団行動を通して規範意識を高める。	A		
(4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	・安全・マナーへの配慮はもちろんのこと、段階に応じてアップやトレーニングを用い、活発に行動するよう促す配慮を行う。	A	A	
		・学校行事・部活動への積極的参加を促す。	A		

様式第6号の11

学番78　県立佐渡高等学校

【芸術科】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	芸術活動に関する基本的な知識・技能を定着させる。	A	A	A
		芸術科の各専門性を生かし、より高度な技術を習得させる。	A		
		学校行事・部活動への積極的な参加を即す。	A		
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサスティナビリティ学の実施	基礎から応用へと、思考力や創造性を養う。	A	A	
		進路相談に応じ、個別指導を実施。	A		
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	学習活動を通じ生徒相互が交流し豊かな体験をさせる。	A	A	
		地域行事への積極的な参加を即す。（作品展等を含む）	B		
(4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	道具・楽器等の扱い方や、準備・片付けを徹底させる。	A	A	
		適切な態度で授業を受けるよう指導する。	A		

【英語科】

重点目標	具体的目標	具体的方策	評価		
(1)高い志を持たせ、夢の実現に向けた確かな学力を身に付けさせる。	【課題解決能力の育成】 ・学習習慣の定着 ・授業の充実 ・各種個別指導の実施	授業準備を明確に示し、授業開始に備えさせる。	A	A	A
		小テストや課題を定期的に課し、学習習慣を定着させる。	A		
		共通テストに対応した指導を適切に行う。	A		
(2)他の人を思いやる心の豊かさを育成する。	【未来を切り拓く能力の育成】 ・個別面談・進路相談の充実と進路指導シラバスの実施 ・総合的な探究の時間等におけるキャリア教育の充実 ・探究活動やサスティナビリティ学の実施	スタディサポートや模試の結果を分析し、指導に反映させる。	A		
		外部試験に関する情報提供と個別指導を適切に行う。	A		
(3)たくましく生き抜く気力体力を育てる。	【コミュニケーション能力・社会参画力の育成】 ・挨拶の励行と基本的生活習慣の確立 ・特別活動や部活動の充実 ・ボランティアなどの協働活動への参加	ペア・グループなどの学習活動に取り組ませる。	A	A	
		パフォーマンステストを実施する。	A		
(4)郷土の歴史・文化・自然等の理解、知識・思考力・国際感覚の養成、グローバルな視点と地域貢献の意識を育成する。	【自己理解及び共感力の育成】 ・探究活動・職業講話等の実施 ・生徒会活動や部活動を通じた他者理解 ・道徳教育を通じた規範意識の確立	スピーチコンテストやプレゼンテーションなどの情報提供と個別指導を適切に行う。	A	A	
		教材で取り扱う題材やトピックを工夫し、思考力を深める活動を行う。	B		